

公表日

令和7年 1月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 川崎幸 教室

保護者等数(児童数) 40名

回収数 35件(割合87.5%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	3		1	・様子を見る機会がありませんのでよくわからない	・保護者の方へいつでも見学できることを改めて周知していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	3		3	・手厚い対応をしてもらっている ・様子を見たことがないのでわからない	・日によって職員の人数に偏りがありますが今後も人数の確保や配置がしっかりとできるよう取り組んでいきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	3		2		・空調設備や使用する玩具が常にきれいに保たれているよう気をつけていきます
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	1		3	・特性に対してのアプローチが伝わってこない ・気になっているポイントを個別で行って ・専門職の先生はいないが様々な工夫してくれる	・伝わっていないと感じられる方がいることに対して説明の仕方や内容について改めて見直し理解していただけるよう改善していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1		1	・子どもにあった様々な支援を考えてくれていて子どもも楽しく取り組んでいる。	・今後も一人一人のお子様にあった療育内容を踏まえプログラムを計画していくよう努めていきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2		1	・子どもにあった様々な支援を考えていて子どもも楽しく取り組んでいる。 ・面談を通じて親から見た子どもの様子や特性や職員から見た子どもの姿などを共有して計画を立案してくれる。	・事業所だけの様子で支援計画が作成されることのないよう総合的な見方や保護者のご意見やお話を丁寧に聞きお子様の特性にあった支援計画を作成するよう努めていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	2		3	・子どもにあった様々な支援を考えてくれていて子どもも楽しく取り組んでいる。	・ガイドラインで示す支援内容から必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容が記載できるよう努めていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33			2	・子どもにあった様々な支援を考えていて子どもも楽しく取り組んでいる。	・今後も日々、職員で情報交換をしながらお子様の状況把握や支援計画の見直しを行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1		2	・いろいろなプログラムがあり選んでいる	・レギュラー曜日によって偏りがないよう様々なプログラムを提供しているよう今後も行っていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12		5	17		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1	1		・具体的な支援内容やアプローチの方法はないように感じる	・ご利用者ご家族様が理解できるような言葉でわかりやすい説明ができるよう心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4	6	9	・研修などはない ・SNSで様子が伝わってくる	・ご家族様参加の研修などはない為、今後については会社と相談していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32	3			・丁寧に聞いていただいている	・帰り送迎の際の引継ぎなど、今日の様子の共有や、ご自宅での様子の共有を今後も行い共通理解につながるよう気をつけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	3	2	1	・面談はしているが、助言などは少ない ・相談にのっていただきいつも安心できるアドバイスや言葉をくれる	・半年に1回の面談以外でも、送迎時や日々の連絡でお話する機会を設けているが、適切な助言につながるよう心掛けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	15	11	・交流会をやってほしい ・保護者会はないが、面談や電話で情報や説明を受けているため満足。	・保護者会などの機会がないため、今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2	1	2	・伝達ミス、確認不足などがある ・相談したいときにいつでも相談にのってくれる	・今一度、ご利用者様全員に周知して相談や申し込みがあった際には迅速に対応できるよう職員間で共有していきます。
	保 護 者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	2		

自 己 の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33		1		・こはん新聞やSNSで様子がわかり楽しみにしている	・SNSでの個人情報の取扱いに十分に注意して、今後もわかりやすい内容で発信できるように工夫していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34		1			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2	3	5	・詳しくは聞いていないと思う	・マニュアルについて安心して過ごしていただけるよう、今一度確認し周知していただけるよう改善していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	2		3	・こはん新聞に毎月訓練の様子がのせられている ・川が近いので水害などが心配	・毎月、様々な災害を想定した訓練を行っている。今後も避難場所の確認や、備蓄の確認なども定期的に行っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2		5	・再度周知してほしい ・以前ホチキスの芯が落ちていたことがあり不安がある	・子どもの安全を確保するための計画を保護者様に見ていただく機会を設け安全を確保した環境で支援が行われるよう職員間で共有してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	3		1	・対応した職員ではない人から聞くことがある ・けがをした際の状況も詳しく教えてくれていて怪我の状態や心づもりをサポートしやすく助かっている。	・現場の状況や経緯、怪我の具合などを全員で共有し、事故後の経過も共有していただけるように連絡を取り合っていく
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35				・初回以外は嫌だと言ったことがない ・先生や友達の手が大好きと言っている ・行くことを嫌がることはない	・職員全員でお子様一人一人の特性を理解し、ご利用者様の安心がご家族様の安心に繋がるよう今後も関わっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	1			・いつも楽しみにご機嫌で通っている ・毎日行きたいと言っている ・お迎えが来ると自分で支度して嬉しそうに帰っていく	・今後も楽しみに来所していただくご利用者様が増えるよう日々のプログラム内容や療育内容を検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	2		1	・個別プログラムなど動画などで知りたい ・毎週楽しみにしている ・楽しく通えていることが一番満足	・これからも満足していただける事業所を目指していきます。

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 川崎幸 教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・毎日の利用人数の確認を行う ・遊ぶスペースと学習スペースをわけており十分なスペースを確保している。	・教室についてから身辺自立につながる環境設定を行ってきたい
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		・勤務表での配置の確認や役割、担当決めを行っている。	・送迎時に人数が少ないことがある為、安全を確保して過ごせるよう配慮していく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		・幼児の洗面台とトイレは年齢に合わせて作られている	・もともとの作りはバリアフリーではないが配慮できるところは改善していきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		・静と動の活動場所を分けたり、特性に応じてクールダウンできるよう配慮している ・エアコンなどは定期的に業者に掃除を頼んでいる	・定期的に業者による清掃を依頼し衛生面での強化をしていきたい
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		・クールダウンできる部屋を常に用意している	・いつでも使用できるよう常にきれいに整理整頓していきたい
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		・毎月の常勤ミーティングや、毎日の朝と昼のミーティングで話し合う時間を設けている	・非常勤さんにも細かく共有していきたい
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・全職員で共有し、改善できるよう努めている	・どんなところを改善できるかを把握しより良い支援ができるように考えていく機会を設けていきたい
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・常勤、非常勤関係なく全員で意見を出し合い、療育の内容を高めていけるようにしている	・全員でミーティングを行う機会が少ない為、全職員がいつでも意見を言える環境を作っていきたい
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11		・第三者による外部評価を行ったことがないので今後検討していきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		・会社内、教室内で様々な研修を行っている	・専門職の職員による研修を深めていきたい
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		・5領域に沿ったプログラムができるよう、様々な案を出し合い、反省点があるときには、全員で解決策を考え作成するよう努めている	・プログラム内容の充実化や適正化を今後も考えていきたい
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		・児発管が面談時に細かくアセスメントを行い支援計画を作成したうえで職員全員が目を通し内容を確認している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		・カンファレンスを通して様々な意見を出し合い一人の見方に偏った計画にならないよう共通理解のもとで療育を行っている	・支援に携わる職員全員で意見を出し合い検討していけるよう今後も行っていきたい
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・カンファレンスや支援計画をすべての職員が目を通し、個別プログラムや集団プログラムの際にそれを意識して療育できるよう努めている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		・フォーマルなアセスメントを参考にしながら照らし合わせ、日々の行動を観察している	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・より具体化し、支援内容が明確になるよう工夫している	・支援内容がご本人や、保護者様に的確に伝わるよう今後も気を付けていきたい
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・毎週のミーティングで話し合いを行い準備や支援の仕方もみんなで協力している	・前回のプログラムについての振り返りを行い内容を見直し、充実させていけるようにしていきたい
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		・他の教室のプログラムの参考にしながら楽しみながら取り組めるものを考えている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11			・偏りがでないよう気を付けていきたい
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		・朝、昼とミーティングを行いその日の流れやこどもの特性などに理解を深めている	・スムーズかつ効率よく支援が行われるよう日頃から職員間のコミュニケーションをしっかりとっていきたい
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		・その日の特記事項などは業務日報にも記入し職員全員が把握できるようにしている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・職員全員で記入の仕方を理解し、記入を基に改善点などを話し合えるようにしている	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		・児発管が面談を行い定期的に見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		・保護者様からの依頼があれば教育期間行って情報共有を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		・保護者様からの依頼がある場合には行っている	・直接訪問して様子を共有できるように改善していきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11		・療育センターへの訪問など、助言をいただく機会を設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		11		・コロナもあり自粛していたので今後計画していきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11		・日々の送迎の際や定期的に行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		11		・今後計画していきたい	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		・契約の際に丁寧な説明を心掛けている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		・支援計画について書面で説明を行い、サインをいただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		・電話や対面での相談にいつでも対応できるよう日頃から声をかけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11		・今後検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		・相談があった場合には職員と話し合い適切な対応を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		・日々の様子をSNSや新聞などで毎週、毎月配信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		・鍵付きの書庫で管理している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		・定期的な面談を基に寄り添えるよう努力している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		・今後、地域の方との交流も検討していきたい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		・月に一度必ず訓練を実施している	・より一層、災害時の空連内容の強化を行ってきたい

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		・保護者様と連絡をとり、状況確認後の対応を周知している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		・保護者様と連絡をとりなるべく提供せずご家庭から持参してもらう形をとっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		・毎月、安全計画について必要なチェック項目や研修に取り組んでいる	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			・よりわかりやすくまた定期的にお伝えできるようにしていきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		・毎日欠かさずにその日のヒヤリハットを確認して業務日報におとすことで職員全員に周知している	・ヒヤリハットの観点から、次はどのように防げばよいかを日々振り返りを大事にしていきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		・虐待防止の研修を全員で行っている	・日々の虐待に関する情報を共有するなど、虐待について考える機会を今後も定期的に設けていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11			・詳しい説明を強化していきたい